



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 株式会社ブルボン

上場取引所 東

コード番号 2208 URL <http://www.bourbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 康

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務管理部長 (氏名) 山崎 幸治

TEL 0257-23-2333

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	26,436	4.2	1,292	6.6	1,316	13.0	714	39.4
23年3月期第1四半期	25,360	2.7	1,212	24.5	1,165	23.0	512	96.5

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 721百万円 (78.6%) 23年3月期第1四半期 403百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	29.89	—
23年3月期第1四半期	21.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	61,719	33,373	54.1	1,390.98
23年3月期	62,383	32,698	52.4	1,368.50

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 33,373百万円 23年3月期 32,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	6.50	—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	48,600	3.0	500	△44.8	600	△21.1	200	—	8.37
通期	105,200	2.7	2,600	△14.4	2,800	△4.0	1,300	25.1	54.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	27,700,000 株	23年3月期	27,700,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	3,706,963 株	23年3月期	3,806,139 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	23,903,494 株	23年3月期1Q	24,120,914 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、今年3月に発生した東日本大震災の影響により、これまでの新興国需要や国内外の経済対策などを背景とした緩やかな回復基調から一転し、供給連鎖体制の寸断による生産活動の縮小、消費の自粛ムード拡大、電力供給不足がもたらす影響や雇用環境の悪化への懸念、さらに円高・資源高の進行なども重なり、経済活動の停滞による先行きの不透明感が強まりました。

菓子・飲料・食品業界は、東日本大震災による消費者の先行き品薄懸念の強まりから一時的な需要増加が見られたものの、自粛ムードによる消費抑制に加え、焼肉店での食中毒事件発生や放射性物質の影響が広がるなか食品の安全・安心が改めて求められる状況で推移いたしました。

当社グループは、食品製造企業として安全・安心・安定および健康を基とした品質保証第一主義に徹し、実質価値の高い商品と消費者ニーズにお応えしたサービスの提供など、顧客満足度を高める活動を推進してまいりました。この度の東日本大震災時には原材料関連の調達先が被災するなか、調達を種々工夫しながら商品の安定供給に努めてまいりました。さらには、食品への放射性物質の影響に懸念が広がっていることを受け、放射性物質分析機器（ゲルマニウム半導体検出器）の導入と生産拠点・営業拠点への携行型放射線量測定器の配備を進め、安全性と品質の確保に万全を尽くしてまいりました。また、消費者による厳しい商品選別が行われるなか、市場のニーズに機敏かつ柔軟に対応し、需要を喚起する積極的な企画提案型の営業活動に努めてまいりました。

その結果、経済活動が収縮した社会状況ではあったものの、ビスケット品目、チョコレート品目、キャンデー品目、飲料品目などが伸張し、売上高は前年同期を上回りました。

利益面では、一部原材料価格やエネルギーコストの上昇があったものの、販売費の効率的な使用やコスト削減活動などに努めたことに加え、売上高の増加に伴い営業利益、経常利益および四半期純利益は前年同期を上回りました。

営業品目別の概況

菓子の合計売上高は24,899百万円（対前年同期比103.1%）となりました。

- ビスケット品目は、プチシリーズ全品に新しいキャラクター“プチクマ”を登場させるとともに、彩り豊かにリニューアルを行いました。また、ご家庭の団欒で楽しめるファミリーサイズ商品群、ロングセラー商品の袋ビスケット商品群、お徳用なメガサイズ商品群、前期末にリニューアルしたエリーゼシリーズなどが好評をいただき前年同期を上回りました。
- 豆菓子品目は、わさび風味を効かせた夏季向け商品の発売や、味ごのみシリーズのリニューアルを行い活性化を図りましたが、既存品が伸び悩み前年同期を下回りました。
- キャンデー品目は、イタリアンパスタ形状のフェットチーネグミシリーズが好評をいただくとともに、ヤギのキャラクターがユニークなキャンデー商品「いちごのつぶやき」に、新味を加え品揃えの充実を図ったことなどにより前年同期を大きく上回りました。
- デザート品目は、実質価値を評価いただいた、くだものいっぱいゼリーシリーズやソースを充填した2層仕立てのソースINデザートシリーズが伸張するとともに、楽しい映像とオリジナルソングにのせて、商品特徴を伝えるテレビコマーシャルの実施などにより前年同期並の推移となりました。
- 米菓品目は、夏季向けのチーズおかきを展開するとともに、プチシリーズ米菓商品群に新製品を加え、父の日限定や新潟限定などの商品にも取り組みました。ファミリーサイズの米菓商品群などが伸び悩み前年同期を下回りました。
- スナック品目は、キャラクター商品や緑の野菜・赤の野菜を用いた健康志向のポテトチップの発売、販売ルート限定商品に取り組んだものの、既存品の伸び悩みなどにより前年同期を下回りました。
- チョコレート品目は、冷やしておいしいアーモンドラッシュの展開や、小箱チョコレート商品のアルフォートミニチョコレートシリーズ、ブランチュールミニチョコレートシリーズなどが好評をいただくとともに、ファミリーサイズ商品群、バッグサイズ商品群、袋チョコレート商品群なども伸張し前年同期を上回りました。
- チューイングガム品目は、販売ルート限定商品の開発、提案およびリニューアルなどに取り組みましたが、既存品が伸び悩み前年同期を下回りました。

飲料・食品・その他の合計売上高は1,537百万円（対前年同期比126.4%）となりました。

- 飲料品目は、東日本大震災の影響によりミネラルウォーターへの需要が高まりました。果汁由来の鮮やかなルビー色の炭酸飲料と清涼飲料水を夏季向けに新しく発売するとともに、牛乳でおいしくつめたいココアシリーズの自動販売機での取り扱いなどにより前年同期を大きく上回りました。
- 食品品目は、袋入りのミルクココアシリーズや和風素材を用いたココアシリーズなどに引き続き支持をいただきました。機能性食品は、前期末に品揃えの充実を図ったバランス栄養食品、スローバースシリーズの展開に取り組みしました。

- その他品目では、通信販売事業は催事企画商品の展開やダイレクトメールによるご案内の強化、新規顧客の拡大などに取り組み、引き続き支持をいただきました。自動販売機事業は、多様な商品を総合的に取り扱うプチモールの展開、設置台数の増加に伴い伸張いたしました。また、酒類販売事業は、ビールの需要期に向けて拡販に努めました。

以上の営業活動により業績の向上に努めてまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は26,436百万円（対前年同期比104.2%）、営業利益は1,292百万円（対前年同期比106.6%）、経常利益は1,316百万円（対前年同期比113.0%）、四半期純利益は714百万円（対前年同期比139.4%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は61,719百万円となり、前連結会計年度末比664百万円の減少となりました。これは主に、季節変動により受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

負債合計は28,345百万円となり、前連結会計年度末比1,339百万円の減少となりました。これは主に、法人税等の支払、賞与の支給があったことによるものです。

純資産は33,373百万円となり、前連結会計年度末比674百万円の増加となりました。これは主に、四半期純利益の計上などにより利益剰余金が増加したことによるものです。

(連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報)

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは3,160百万円の収入（前年同期868百万円の収入、対前年同期比364.0%）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,302百万円、減価償却費884百万円および売上債権の減少額3,006百万円による収入があったことと、たな卸資産の増加額744百万円、賞与引当金の減少額572百万円および法人税等の支払額897百万円の支出があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは536百万円の支出（前年同期836百万円の支出、対前年同期比64.1%）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出942百万円があったことと、在外子会社のリースバック等による有形固定資産の売却による収入493百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは220百万円の支出（前年同期333百万円の支出、対前年同期比66.0%）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出122百万円と配当金の支払額149百万円があったことによるものです。

以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前第1四半期末に比べ822百万円増加し、9,380百万円となりました。また、前連結会計年度末に比べ2,404百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月6日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,965	9,369
受取手形及び売掛金	13,139	10,139
有価証券	111	116
商品及び製品	3,051	3,676
仕掛品	493	521
原材料及び貯蔵品	2,536	2,630
その他	2,260	1,542
貸倒引当金	△112	△73
流動資産合計	28,445	27,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,515	8,483
機械装置及び運搬具（純額）	8,749	8,825
その他（純額）	8,214	7,974
有形固定資産合計	25,479	25,284
無形固定資産		
のれん	2,120	2,092
その他	493	487
無形固定資産合計	2,614	2,579
投資その他の資産		
その他	5,850	5,939
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	5,843	5,932
固定資産合計	33,938	33,796
資産合計	62,383	61,719

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,221	9,596
短期借入金	2,315	2,267
未払法人税等	936	371
賞与引当金	954	381
返品引当金	74	70
その他	7,374	6,908
流動負債合計	20,876	19,596
固定負債		
長期借入金	1,450	1,374
退職給付引当金	5,586	5,627
役員退職慰労引当金	162	162
資産除去債務	7	7
負ののれん	31	31
その他	1,571	1,545
固定負債合計	8,808	8,749
負債合計	29,685	28,345
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金	7,232	7,326
利益剰余金	25,540	26,099
自己株式	△586	△571
株主資本合計	33,223	33,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△343	△353
為替換算調整勘定	△181	△164
その他の包括利益累計額合計	△524	△517
純資産合計	32,698	33,373
負債純資産合計	62,383	61,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	25,360	26,436
売上原価	14,621	15,387
売上総利益	10,739	11,049
販売費及び一般管理費	9,526	9,756
営業利益	1,212	1,292
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	32	34
負ののれん償却額	0	0
その他	26	30
営業外収益合計	63	69
営業外費用		
支払利息	7	10
減価償却費	13	7
貸倒引当金繰入額	6	—
為替差損	80	24
その他	3	2
営業外費用合計	110	44
経常利益	1,165	1,316
特別利益		
固定資産売却益	—	3
貸倒引当金戻入額	41	—
特別利益合計	41	3
特別損失		
固定資産処分損	—	1
減損損失	1	5
災害による損失	—	2
災害支援支出	—	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21	—
その他	0	0
特別損失合計	23	17
税金等調整前四半期純利益	1,183	1,302
法人税、住民税及び事業税	322	353
法人税等調整額	348	234
法人税等合計	671	588
少数株主損益調整前四半期純利益	512	714
四半期純利益	512	714

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	512	714
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△117	△10
為替換算調整勘定	9	16
その他の包括利益合計	△108	6
四半期包括利益	403	721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	403	721
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,183	1,302
減価償却費	797	884
のれん償却額	36	28
受取利息及び受取配当金	△37	△38
負ののれん償却額	△0	△0
支払利息	7	10
為替差損益(△は益)	81	33
固定資産処分損益(△は益)	—	△2
減損損失	1	5
災害による損失	—	2
災害支援支出	—	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,478	3,006
たな卸資産の増減額(△は増加)	△629	△744
仕入債務の増減額(△は減少)	8	370
賞与引当金の増減額(△は減少)	△560	△572
その他	△1,137	△250
小計	2,251	4,042
利息及び配当金の受取額	32	34
利息の支払額	△6	△9
災害損失の支払額	—	△10
法人税等の支払額	△1,410	△897
営業活動によるキャッシュ・フロー	868	3,160
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△778	△942
有形固定資産の売却による収入	5	493
投資有価証券の取得による支出	△45	△67
その他	△17	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△836	△536
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△10	△0
長期借入金の返済による支出	△122	△122
配当金の支払額	△156	△149
その他	△44	51
財務活動によるキャッシュ・フロー	△333	△220
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△299	2,404
現金及び現金同等物の期首残高	8,858	6,976
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,558	9,380

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。